

第2次千葉市文化芸術振興計画 1次評価シート

基本施策名	基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」		
	(2)参加・体験活動の推進		
事業名	美浜こどもまつり「キャラメルマシンのスーパーサイエンスマジックショー」		
実施主体	指定管理者	(名称) ちばアートウインド運営企業体	
市との関わり	その他	企画提案業務	指定管理者
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 245-5961 (内)90-2526

事業概要	開始年度	令和2年度			
	事業費	(予算) 市： 3,170,000	その他： 660,000	(決算) 市： 2,415,118	その他： 113,099
	内容	<p>幼児～児童、その家族を対象とした「美浜こどもまつり」を実施。</p> <p>本来はワークショップやホール舞台でのカブトムシ狩り体験といった参加型、体験型の事業であったが、今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、不特定多数の来場者の長時間の滞留、接触を避けるため急遽、来場者の行動が把握できる「観賞事業」（基本施策1 - (1)）に変更した。</p> <p>対象は変わらずに親子で楽しみ学べる、マジックと科学実験とお笑いを融合したコンビ「キャラメルマシーン」によるマジックショーを実施。</p>			
	目的	<p>普段、文化施設に訪れる機会の少ない幼児・児童・その家族に、お笑いマジックという興味をひきやすい内容の催事を実施することにより、文化施設を身近に感じてもらい、文化芸術が生活の身近に存在するものであると感じていただく。</p>			
	目標	(数値) 900名→観賞系変更に伴い、350名		(昨年度) のべ1,116名参加	
	ねらい	<p>(対象) 美浜区・花見川区の幼児～児童を中心とした市民</p> <p>(求める効果)</p> <p>お笑いマジックという比較的、見やすい催し物に科学実験マジックも取り入れ、子どもたちにホール事業の楽しさを知ってもらい、美浜文化ホールの魅力度を向上させる。</p> <p>来場されたお客様においては、ホールでの楽しい思い出と共に、自宅でもできる実験マジックで家族間のコミュニケーションの醸成につながる事業としたい。</p> <p>(アプローチ方法)</p> <p>夏休み期間という事もあり、自由研究のヒントとなる「理科」の内容を盛り込み、学ぶ楽しさ、知る楽しさを感じてもらうことで、気軽にホールへ来館する機会を創出した。</p> <p>千葉市教育委員会、千葉市幼稚園協会の後援を得、美浜区、花見川区の保育園、幼稚園、小学校でのチラシ配布を行い、対象となる幼児、児童への広報活動を積極的に行った。また周辺住民に対しても、自治会回覧板で公演の周知を行った。</p> <p>さらに、親子向けサイト「いこーよ」はじめ、イベント情報サイト、ホール公式SNS等で積極的にPRした。</p>			
	実績	<p>実施日：2020年8月18日(火) ①11:00開演 ②13:30開演 (各45分前開場)</p> <p>会場：千葉市美浜文化ホールメインホール (354名収容/イベント制限を受け、50%の176名を最大収容人数とした)</p> <p>観覧数： ①125名 ②141名 合計266名/来場率 76%</p>			
	情報発信	<p><input type="checkbox"/> 市政だより <input checked="" type="checkbox"/> HP <input checked="" type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input checked="" type="checkbox"/> フェイスブック・ツイッター</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他 (イベント情報サイト「いこーよ」「ジモティ」等)</p>			

【評価指標】 4：妥当、3：ほぼ妥当、2：工夫により改善、1：見直し

1 基本施策との適合	(1) 妥当性	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>催事の「サイエンスマジック」コーナーでは、本来は子どもたちをステージにあげ、「割れない風船」「割れないシャボン玉」「空気砲」「気流の流れ」等、多数の体験をしてもらう内容だが、不特定多数の接触・密集・を避けるため、やむを得ず出演者が行った。</p> <p>しかしながら、体験型（基本施策1-（2））から鑑賞型（基本施策1-（1））に変更したものの、地域のイベントが続々と中止となって文化芸術に親しむ機会が減っていく中、子どもたちがたくさん来場し、楽しんでくれたことは、文化芸術に親しむ機会を失わせず、大項目の『文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」』という観点では、妥当だったと考える。</p>	
	(評価に関連する数値等)			
	別紙アンケート集計 「イベント満足度」 最高点5、及び4の合計96%以上 「イベント満足度の理由」コメント参照			
1 基本施策との適合	(2) 達成度	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>「参加型・体験型」事業は密集・密接を避けることが難しく、当時の情勢を鑑みるに、来場者の行動把握が可能な「観賞型」事業に変更したことは事業を絶やさせず、「基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」・という観点では達成したと考える。一方で小項目「(2)参加・体験活動の推進」とは異なる事業であったという点では、適合性に欠けた面もある。</p>	
	(評価に関連する数値等)			
	別紙アンケート集計 「イベント満足度」 最高点5、及び4の合計96%以上 「イベント満足度の理由」コメント参照			
1 基本施策との適合	(3) 波及		<p>(評価の内容)</p> <p>基本施策1-（1）多彩な文化芸術イベントの開催（鑑賞事業の実施） 基本施策4-（2）多様な協働・連携の促進（教育委員会等の後援） 基本施策5-（2）魅力ある人材の活用（出演者が神田外語大学出身）</p>	
	(評価に関連する数値等)			
別紙アンケート集計 「お子様の年齢」「イベントを何で知ったか？」参照				
2 戦略的な視点・基本姿勢との適合	(1) 市民主体	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>来場者の90%以上が千葉市民であった。前述のアプローチ方法で記したように、市教育委員会、幼稚園協会の後援を得、近隣教育機関、回覧板等で重点的なプロモーションを行った結果と考える。</p> <p>来場されたお客様においては、事業の目的である「夏休みの思い出に」という視点では、ホールでの楽しい思い出と共に、自宅でもできる実験マジックで家族間のコミュニケーションの醸成につながる事業となったと考える。</p>	
	(評価に関連する数値等)			
	別紙アンケート「お住まい」参照			
	(2) 子ども・若者		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>事業の対象が子どもを持つファミリー層となっており、実際の来場者も親子（祖父母含む）での参加が95%以上であった。</p> <p>公演内容も幼児・児童が興味を持ちやすい「マジック」と「笑い」をベースに科学実験を盛り込み、幼児、児童にも内容を理解しやすい内容で、児童向けの公演として妥当だった個考える。</p>
		(評価に関連する数値等)		
	別紙アンケート「年齢」「お子様の年齢」参照			
(3) 領域の広がり		<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	<p>(評価の理由)</p> <p>催事内容が夏休みの自由研究などのヒントとなるような科学実験を取り入れた内容となっており、子どもや親世代からも学びに関する興味を引き出せたと考える。</p>	
	(評価に関連する数値等)			
別紙アンケート コメント「イベント満足度の理由」参照				

3 事業のねらい	(1) 妥当性	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) やむを得ず事業内容を変更したため、「参加型、体験型活動の推進」ではなくなったが、参加形態を「鑑賞型」と変更したことで「文化芸術に親しむ市民の裾野を広げる」活動を絶やさず実施できたことで、事業の狙いとして妥当であったと考える。
	(評価に関連する数値等)		
(2) アプローチ	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 急遽の変更ではあったが、事業対象の客層に情報をとどけ、コロナ禍の中、集客率70%を超えることができた。アンケートの内容を觀ても、来場された子ども達にも大変好評だったことがわかる。	
	(評価に関連する数値等)		
別紙アンケート 「イベント満足度」 コメント「イベント満足度の理由」参照			
4 市民との関わり	(1) 満足度	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 事業内容の満足度も、「とても満足(5)」「満足(4)」の項目で90%を超えている。
	(評価に関連する数値等)		
別紙アンケート 「イベント満足度」参照			
(2) 周知度	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 事業の対象である幼児、児童、そして、公演の参加を決定する保護者に対しては教育施設でのチラシ配布(109施設・14,826部)、周辺住民に対しては自治会回覧板の活用など適格に実施しており、妥当であると考え。	
	(評価に関連する数値等)		
別紙アンケート 「イベントを何で知ったか？」参照			
5 効果	(1) 活動の活性化	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 本来の目的である「(2)参加・体験活動の推進」とは異なる事業となったため、活動の活性化の観点では、当初計画の狙いとは異なってしまったが、「科学実験(サイエンスマジックショー)」をテーマとしたことにより、子どもたちに「学ぶ」ことの興味を持たせることはできたと感じている。
	(評価に関連する数値等)		
別紙アンケート コメント「イベント満足度の理由」参照			
(2) 費用対効果	<input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4	(評価の理由) 当初の不特定多数の参加がベースとなる参加型事業((2)参加・体験活動の推進)から、来場者の行動を把握・制限できる鑑賞型事業(「(1)多様な文化芸術イベントの開催」へ内容変更となったが、大項目である「基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」」内での変更にとどまり、また予算内で収まったことを踏まえ、妥当と考える。	
	(評価に関連する数値等)		
事業費予算、決算額を参照			
(3) その他の効果	(評価の内容) ※上記(1)(2)以外の効果があった場合のみ記載(地域活性化等なんでも可)		
	緊急事態宣言明けの最初の主催事業であったため、感染予防対策についてガイドライン等に則って実践した。本事業の実施が、その後の施設で催される催事の感染予防対策の基本指針となり、施設利用者様に対しても、ホール発信で対策方法をアドバイスするなど、有意義なものとなった。		
(評価に関連する数値等)			
別紙アンケート集計 コメント「コロナ関連コメント」参照			